

第 16 回学校危機メンタルサポートセンターフォーラム実施要項

〔第 1 部:セーフティプロモーションスクール(SPS)推進員養成セミナー〕

〔第 2 部:「安全・防災教育のプログラム開発プロジェクト」シンポジウム〕



1. メインテーマ：学校危機の諸相とその予防戦略を考える
－SPS と安全・防災教育プログラムのさらなる充実と発展を目指して－

2. 趣旨

文部科学省の平成 29 年度事業の「防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業」の中で「セーフティプロモーションスクール等の先進事例を参考に地域の学校安全関係者（有資格者等）、関係機関及び団体との連携・協力」という事業が展開されております。この「セーフティプロモーションスクール（SPS）」とは、教職員，児童・生徒，PTA，地域が参加する共感と協働に基づく安全教育・安全管理・安全連携の体系的な学校安全推進のための取り組みとして、大阪教育大学が新たに創設した制度の名称です。大阪教育大学では、「セーフティプロモーションスクール」の国内外における一層の普及と発展を継続的に支援していくために、平成 26 年 10 月に、「日本セーフティプロモーションスクール協議会」を設立し、セーフティプロモーションスクール活動の実践に取り組む学校や学校関係者への支援を展開しているところです。そこで今回のフォーラムでは、**第 1 部**として各学校におけるセーフティプロモーションスクール活動の実践と協働を担う「セーフティプロモーションスクール推進員」の資格認定を目的とした研修会を開催することにいたしました。この「セーフティプロモーションスクール推進員」は、セーフティプロモーションスクールの認証に取り組む学校における「チーム学校」の一員として学校における安全推進活動の展開を支援する人材としての活躍が期待されています。

また大阪教育大学では、平成 24 年度より北海道教育大学(H)・愛知教育大学(A)・東京学芸大学(T)・大阪教育大学(O)の 4 大学による国立大学改革強化推進補助事業「大学間連携による教員養成の高度化支援システムの構築－教員養成ルネッサンス・HATO プロジェクト」に取り組んでまいりました。学校危機メンタルサポートセンターでは、わが国の学校における安全教育の一層の推進に資することを目的として、この HATO プロジェクトの中で「先導的実践プログラム部門 安全・防災教育のプログラム開発プロジェクト」を展開し、児童・生徒の自己効力感や自尊感情を育み、危険予測能力や危険回避能力を高めるとともに、犯罪・災害の被害に巻き込まれる危険の発生を予防することを目的としたデジタル教材の開発を進めてまいりました。そこで**第 2 部**として、当センターが「安全・防災教育のプログラム開発プロジェクト」として取り組んだ活動のうち、特に「防災教育」の観点から、「子どもたちの命を守る安全・防災教育の展開」と題した**シンポジウム**を開催することといたしました。

今回のフォーラムを通じて、わが国における包括的な学校安全の推進に関わる人材育成と実践研究のさらなる発展と、学校における安全教育活動の一層の充実と広がりを提案したいと考えております。

3. 日時 平成 30 年 3 月 2 日（金） 09：20～17：00
《受付は、09：00 より、学校危機メンタルサポートセンターで行います。》
4. 会場 学校危機メンタルサポートセンター（大阪府池田市緑丘 1-2-10）

5. 主催 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター
6. 共催 東北大学 災害科学国際研究所 防災教育国際協働センター
7. 後援 文部科学省, 大阪府, 大阪府教育委員会, 大阪府警察本部, 兵庫県教育委員会, 滋賀県教育委員会, 京都府教育委員会, 奈良県教育委員会, 和歌山県教育委員会, 大阪市教育委員会, 堺市教育委員会, 京都市教育委員会, 日本教育大学協会, 独立行政法人日本スポーツ振興センター, 公益財団法人日本学校保健会, 大阪府学校歯科医会, 日本安全教育学会, 日本セーフティプロモーション学会

8. 対象

- ① セーフティプロモーションスクール推進員の資格認定を希望する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教職員等学校関係者
- ② セーフティプロモーションスクール活動に関心を持つ幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校における「チーム学校」の関係者
- ③ 都道府県及び市町村教育委員会の学校安全担当者
- ④ HATO プロジェクト関係者
- ⑤ 日本安全教育学会並びに日本セーフティプロモーション学会の学会員

9. 内容

(※敬称略)

開会行事 (09:20~09:30)

開会あいさつ

大阪教育大学長 栗林 澄夫

来賓祝辞

文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課

第1部:平成29年度第4回セーフティプロモーションスクール(SPS)推進員養成セミナー

(1) 基礎研修 (09:30~10:10)

「セーフティプロモーションスクールの考え方・進め方」

藤田 大輔 (大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター長・教授)

日本セーフティプロモーションスクール協議会 理事長)

(2) 実践研修 [途中休憩 10:50~11:00]

ワークショップ (10:10~11:40)

「セーフティプロモーションスクールにおける活動成果の共有」

石巻市立広瀬小学校 (宮城県) における実践から

石巻市立住吉中学校 (宮城県) における実践から

大阪市立新高小学校 (大阪府) における実践から

高知市立旭小学校 (高知県) における実践から

総合討論 (11:40~11:50)

指定発言

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

レポート作成 (昼食休憩時間を含む)

[昼食休憩 12:00~13:00]

第2部：シンポジウム「子どもたちの命を守る安全・防災教育の展開」

(3) 基調講演 (13:00～14:30)

「釜石東中学校における防災教育の実践とその成果」

～震災を生き抜いた生徒たちに学ぶ～

森本 晋也 (岩手大学大学院教育学研究科 (教職大学院) 准教授
元釜石市立釜石東中学校教諭 [防災教育担当])

講師紹介：釜石市立釜石東中学校と釜石市立鶴住居小学校の児童・生徒、約 570 名は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生と同時に全員が迅速に避難し、押し寄せる津波から生き延びることができました。講師は、震災前に釜石東中学校で防災教育を担当され、「EAST-レスキュー」と命名された防災教育カリキュラムを展開されていました。現在は、震災当時の中学生を対象に、震災以前に実施しておられた防災教育カリキュラムの教育効果の検証を通じて、発達段階に応じた新たな防災教育のカリキュラムづくりとその発信に取り組んでおられます。

[休憩 14:30～14:50]

(4) シンポジウム (14:50～16:50)

「子どもたちの命を守る安全・防災教育の充実と発展を目指して」

司会：藤田 大輔 (大阪教育大学 教授・学校危機メンタルサポートセンター長
「安全・防災教育のプログラム開発プロジェクト」代表)

シンポジスト

- ・ 「HATO プロジェクト」による防災教育教材の開発とその成果
豊沢 純子 (大阪教育大学教育学部 准教授)
- ・ 「地理情報」を活用した防災教育の充実とその可能性
後藤 健介 (大阪教育大学教育学部 准教授)
- ・ 「気象情報」を活用した防災教育の充実とその可能性
古田 佐代子 (気象庁大阪管区気象台 技術主任)

総合討論

指定発言

衛藤 隆 (東京大学名誉教授, 大阪教育大学客員教授)

佐藤 健 (東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター長・教授)

(5) 閉会行事 (16:50～17:00)

閉会あいさつ 大阪教育大学学長補佐 (学校安全担当) 藤田 大輔

10. 参加費 無料

11. 参加方法

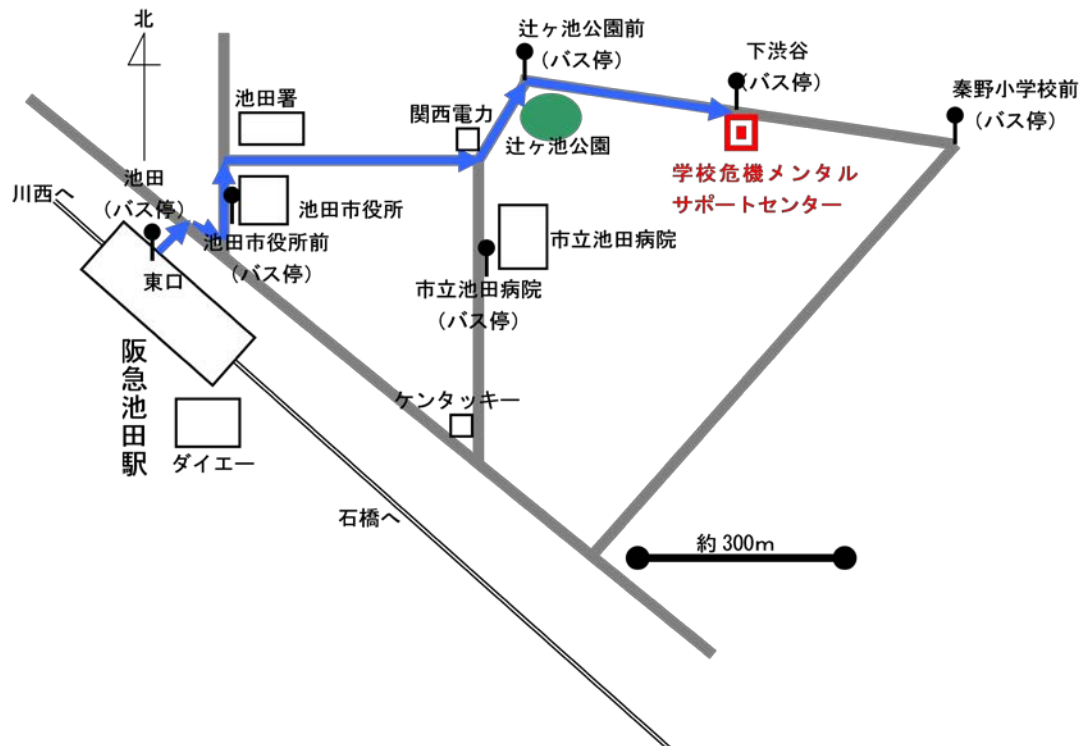
参加を希望される方は、個人ごとに、別紙「センターフォーラム参加申込書」を Fax によりお申し込みください。用紙が不足する場合は複写してご利用下さい。

- (1) 申し込み期限 平成 30 年 2 月 21 日 (水) 17:00
- (2) 申し込み方法 別紙「受講申込書」を Fax(072-752-9904)でお送りください。
- (3) 申し込み先 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター 事務係

Tel: 072-752-9903 Fax: 072-752-9904

※ なお、会場の都合により、申し込みが会場の収容人数(約 200 名)に達した場合は、受付を締め切らせていただくことがありますので、ご了承願います。

■ 阪急池田駅から会場への案内図



阪急宝塚線「池田駅」より 徒歩約 20 分

阪急宝塚線「池田駅」より 阪急バス約 10 分 下渋谷(シモンブタニ)バス停下車すぐ

伊丹空港より タクシー約 15 分

【注】《昼食について》

会場近辺に飲物の自動販売機はありますが、飲食店・コンビニはあまりありませんので、各自で昼食の準備をお願いいたします。

なお「昼食休憩」時間帯は発表会場を開放いたしますので、そのまま発表会場で昼食をお取りいただくことは可能です。